

## 第 3 次あま市地域福祉計画の策定状況

### 1 基本的な策定方針

現行の第 2 次あま市地域福祉計画（以下、「第 2 次計画」という）は令和 5 年度で計画期間の 5 年目（最終年度）を迎えた。

この計画の推進状況等を整理し、国などの動向を踏まえ、第 3 次あま市地域福祉計画（以下、「第 3 次計画」という）を第 3 次あま市社会福祉協議会地域福祉活動計画や第 2 次あま市成年後見制度利用促進基本計画と一体的に策定する。

### 2 第 3 次計画の計画期間

令和 6 年度から令和 1 0 年度の 5 か年

### 3 第 3 次計画の策定に向けたこれまでの取り組み

#### (1) 令和 4 年度

##### ①市民向けアンケートの実施

あま市内在住の 1 8 歳以上の市民 3, 0 0 0 人を対象に、あま市地域福祉に関するアンケート調査を実施した。

質問項目は回答者の属性、地域との関わり、地域の支えあい、ボランティア活動、災害時における活動など、9 つの項目に大別して設問を用意し、地域福祉の現状や課題を整理した。

##### ②団体向けアンケート及び団体ヒアリングの実施

市民向けアンケートのほか、福祉関係団体を含む 3 0 団体を対象に、団体向けアンケートを実施した。

質問項目は団体の概要、地域における福祉課題、市や社会福祉協議会との連携、地域共生社会の実現に向けた考え、取り組むべき福祉施策について設問を用意し、地域福祉の現状や課題を抽出した。

また、アンケートの回答があった団体の中から、6 団体を対象にヒアリング調査を実施し、地域課題をより深めた。

#### (2) 令和 5 年度

##### ①地域懇談会の実施

6 月 1 0 日（土）、6 月 1 7 日（土）、6 月 2 4 日（土）に全 3 回にわたって地域懇談会を開催した。出席者は自治会、福祉関係団体、ボランティア団体、一般公募をあわせて延べ 7 6 名の参加があった。

地域懇談会を実施した結果を集約したものは資料 4、各グループで協議されたものは資料 5 に集約した。

## ②関係課ヒアリングの実施

地域福祉計画は各福祉分野の計画の上位計画と位置付けられており、最上位計画である総合計画や関連計画となる地域防災計画との整合性を保つ必要がある。

このことから、8月1日（火）から8月4日（金）の間で、それぞれの行政計画を所管する関係課8課（企画政策課、危機管理課、人権推進課、障がい福祉課、高齢福祉課、子ども福祉課、保育課、健康推進課）を対象に、地域共生社会の実現に向けた取り組みや新しい事業の有無、各福祉分野の計画の方向性などを聞き取るヒアリングを実施した。

また、第3次計画は社会福祉協議会の地域福祉活動計画も一体的に策定する方針としていることから、あま市社会福祉協議会にもヒアリングした。

## ③第3次計画の骨子案の作成

ここまでの策定状況や第2次計画の進捗状況を踏まえ、資料6のとおり第3次計画の骨子案を作成した。

## 4 今後の予定

### (1) 第3次計画の計画書案の提示

令和5年12月に開催予定のあま市地域福祉計画推進委員会（以下、「本委員会」という）において、第3次計画の計画書案を提示する。

### (2) パブリックコメントの実施

次回の本委員会での協議を踏まえ、令和6年1月4日（木）から同月31日（水）までの1か月間、パブリックコメントを実施し、広く意見を募集し、市民参加の機会を確保する。

### (3) 第3次計画の計画書最終案の提示

令和6年2月に開催予定の本委員会において、第3次計画の計画書最終案を提示する。承認が得られたら、最終校正を経て、令和6年3月に校了し、計画書を印刷する。